



身延町立下山小学校
Tel 0556-62-5107
Fax 0556-62-5388

チー ム 下 山

下山小の合い言葉 **あいさつ いのち うんどう えがお おもいやり**

7月22日(水)は^{たいしょ}大暑。当初の予定では終業式の日でした。この日は、最も暑い真夏の頃とされています。風鈴、土用のうなぎ、花火と、風物詩が目白押しです。8月7日(金)の立秋までは、酷暑が続きます。



涼風に靡く風鈴

そんな中で、暑さを和らげてくれるのが風鈴です。風鈴は、暑さと災厄を祓うと言われていています。風情がありなんともいえない音色ですよね。室町時代には貴族たちが自宅に吊したりしたようですが、江戸時代になると風鈴売りが出現し、庶民にも夏の風物詩として親しまれるようになったそうです。室町の昔から受け継がれてきた風鈴、歴史を感じながら風鈴の音に耳を澄ませられるような、穏やかで落ち着いた夏休みにと願っています。健康管理の観点からも、感染症に打ち勝つためにも、まずは生活のリズムを整え免疫力をアップさせることが第一ですね。

53日間の1学期が無事終了！

1学期、こんなことがありました！

行事等の一部を紹介します。



1年：クラフトパーク探検



2年：文化会館探検



3年：あけぼの大豆種まき



4年：峡南衛生組合見学



5年：プログラミング授業



6年：一ノ宮先生の給食指導



登校班会議



見守り隊対面式



地震想定避難訓練



交通安全教室



外遊び集会



下小職員緊急時対応訓練

1学期の授業日数は、1学期を1週間延長し53日で終了しました。2学期は予定より2日早め、8月24日(月)からのスタートになります。よろしくお願いいたします。

～夏休み交通安全特集～

夏休みを安全に！



下山小見守り隊の方々が、毎日登下校を見守ってくださっています。皆さん本当にありがとうございます。

毎朝、手押し信号機のボタンを押し、青信号にかわると、子どもたちは当然のように横断歩道を渡ります。見守り隊の方は、子どもを渡らせた後、必ずあることをします。それは、以下のような行動です。やおら振り返り、赤で止まっていた左右のドライバーの方々にお礼のあいさつをしているのです。

まさに、左にある南部警察署のポスターのとおりです。率先垂範ですね。美しい後ろ姿に毎回見とれています。背中で教えてもらっています。そういう大人に私もなりたい……。

徒歩通学の児童と朝一緒に登校する機会がありました。6年生の児童に「どうして、道路を渡るとき、右見て左見てまた右見て渡るのかな？」と質問しました。すると、その子は、「昔、家の人に教わりました。でも理由は……？」と答えました。お家の人大切な言葉、しっかり覚えていて実践しているのは大変立派です。



質問に戻ります。では、なぜ右から見るのでしょうか？ それは……

乗り物は、左側通行だからです。左から見てスタートすると右から来る車にぶつかる危険性があるのです。子どもたちには、集会の折りに話をしましたが、家でも繰り返しお話してみてください。「親の意見と冷や酒」きっと何度も話すうちに効いてくる（理解が実践につながる）と思います。因みに、アメリカでは左から見て道路を横断するのでしょうか。

自転車を運転する人はドライバーです。だから子どもたちも立派なドライバーです。山梨県では、自転車事故の割合が増えています。他県では、こんな例もあるそうです。小学生が起こした自転車事故で、被害者に賠償金を支払う事故がありました。その額9500万円です。数千円に及び高額な賠償命令が出された事故もたくさんあるそうです。

10月1日から自転車に乗る人は、保険に入ることが義務化されます。保険に入っていない人は、それまでの期間が心配です。よく乗る人は、安全運転に心がけるよう家でも御指導ください。自転車は自動車やバイクの仲間です。自分の身を守るためにもヘルメットも大切です。

歩行者としてもドライバーとしても、一人ひとりの自覚が必要です。

ご家族共々、安全で安心な夏休みを……。

保護者の皆様、地域の皆様へ

1学期のご協力ありがとうございました。激動の1学期でしたが、皆様のご支援があったからこそ、無事終了することができました。深く深く感謝申し上げます。

笑顔で過ごせる夏休みにと願っています。子どもたちが心身共に健康で過ごせるよう、今後とも声かけ等よろしくお祈りします。

酷暑の予感がいたします。皆様もくれぐれもご自愛の上、お過ごしください。

文責 校長 片田幸樹

